2025年12月期　第１四半期決算短信〔ＳＦＲＳ(Ｉ)及びＩＦＲＳ〕（連結）

2025年５月15日

上場会社名	ＹＣＰホールディングス（グローバル）リミテッド	上場取引所	東
コード番号	9257	URL	https://corporate.ycp.com
代表者	(役職名)取締役兼グループCEO	(氏名)石田　裕樹	
問合せ先責任者	(役職名)IRグループ	(氏名)中村　哲朗	(TEL) 03-6804-3225

配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け）

１．2025年12月期第１四半期の連結業績（2025年１月１日～2025年３月31日）

（注）当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2025年３月31日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき１米ドル＝149.53円で換算された金額であります。

（１）連結経営成績（累計）　（単位：千米ドル（百万円）、%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
2025年12月期 第１四半期	23,100 (3,454)	10.4%	1,183 (177)	10.4%	977 (146)	△1.6%	460 (69)	△60.9%	394 (59)	△64.5%	3,305 (494)	－
2024年12月期 第１四半期	20,924 (3,129)	△24.9%	1,072 (160)	△42.1%	993 (148)	△43.7%	1,176 (176)	12.5%	1,111 (166)	5.2%	△465 (△70)	－

（単位：米ドル（円））

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
2025年12月期 第１四半期	0.02 (2.64)	0.02 (2.62)
2024年12月期 第１四半期	0.05 (7.57)	0.05 (7.55)

（注）2024年12月に当社が保有する株式会社SOLIAの全株式を売却したため、前連結会計年度において、同社及び同社の子会社の事業を非継続事業に分類しております。これに伴い、前第１四半期連結累計期間の売上収益、営業利益及び税引前四半期利益について、非継続事業を除いた継続事業の金額に組み替えております。

（２）連結財政状態　（単位：千米ドル（百万円））

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
2025年12月期 第１四半期	138,386 (20,693)	93,774 (14,022)	92,590 (13,845)	66.9%
2024年12月期	136,015 (20,338)	90,309 (13,504)	89,566 (13,393)	65.8%

２．配当の状況

（単位：米ドル（円））

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
2024年12月期	－	0.00 (0.00)	－	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)
2025年12月期	－				
2025年12月期(予想)		0.02 (3.02)	－	0.07 (10.40)	0.09 (13.42)

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2025年12月期の連結業績予想（2025年１月１日～2025年12月31日）

（単位：千米ドル（百万円）、%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益（米ドル、円）	
通期	91,826 (13,731)	6.4%	5,868 (877)	1,562.3%	5,642 (844)	－	4,002 (598)	△79.2%	4,002 (598)	△78.8%	0.18 (26.84)	△78.9%

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①SFRS(I)及びIFRSにより要求される会計方針の変更　：無

②①以外の会計方針の変更　：無

③会計上の見積りの変更　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 Q1	22,294,192　株	2024年12月期	22,291,192　株
②期末自己株式数	2025年12月期 Q1	－　株	2024年12月期	－　株
③期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 Q1	22,291,225　株	2024年12月期 Q1	21,938,276　株

※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「１．当四半期決算に関する定性的情報（４）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 2
（１）経営成績に関する定性的情報 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 4
（３）キャッシュ・フローの状況 4
（４）連結業績予想に関する定性的情報 4
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 6
（１）要約四半期連結損益及び包括利益計算書 6
（２）要約四半期連結財政状態計算書 8
（３）要約四半期連結持分変動計算書 9
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 10
（継続企業の前提に関する注記） 11
（セグメント情報） 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第１四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益が23,100千米ドル（3,454百万円）と前年同期に比べ2,176千米ドル（325百万円、10.4％）の増収、営業利益が1,183千米ドル（177百万円）と前年同期比と比べ111千米ドル（17百万円、10.4％）の増益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、プリンシパル投資事業パーソナルケア領域として展開していた株式会社SOLIAの株式を2024年12月に第三者へ譲渡した影響により、394千米ドル（59百万円）と前年同期と比べ717千米ドル（107百万円、64.5％）の減益となりましたが、四半期包括利益については、過去数年にわたり続いていた円安傾向が一服したこともあり、3,305千米ドル（494百万円）の利益となりました。なお、株式会社SOLIAの株式売却に伴い、前連結会計年度においてプリンシパル投資事業パーソナルケア領域を非継続事業と分類したため、関連する前第１四半期連結累計期間の連結財務諸表及び注記を一部組み替えて表示しております。

当第１四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下の通りです。

（マネジメントサービス事業）

マネジメントサービス事業は、当社グループの中核事業であり、2025年３月31日現在でアジアを中心とする世界22拠点にて約450名のプロフェッショナルが、M&AやDX導入などの企業変革実現に向けた現場常駐型(PMO型)での経営支援サービスを国内外で展開しております。

当事業においては、主要な地域の中で、案件獲得が順調に進展した日本地域で614千米ドル（92百万円、24.7％）の増収、2024年４月に買収したShenkuo Business Partners Limitedの貢献が大きかったグレーターチャイナ地域で176千米ドル（26百万円、17.4％）の増収となりました。インド地域においても引き続き安定した受注状況が続いておりますが、事業の一部をプロフェッショナルソリューション事業のデジタルトランスフォーメーション領域に移管した影響で586千米ドル（88百万円、17.0％）の減収となっております。その結果、当連結会計年度のセグメント売上収益は10,239千米ドル（1,531百万円、前年同期は8,963千米ドル（1,340百万円））（セグメント間収益含む）で増収、セグメント利益は1,286千米ドル（192百万円、前年同期は1,547千米ドル（231百万円））で減益になりました。

マネジメントサービス事業における、当第１四半期連結累計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下の通りです。

（マネジメントサービス事業における地域別売上収益の内訳）	当第１四半期連結累計期間（2025年１月１日～2025年３月31日）		前第１四半期連結累計期間（2024年１月１日～2024年３月31日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
日本	3,097	463	2,483	371
東南アジア	2,420	362	2,422	362
グレーターチャイナ	1,186	177	1,010	151
インド	2,860	428	3,446	515
欧州	541	81	344	51
北米	194	29	374	56
グループ間取引消去	△333	△50	△1,369	△205
合計	9,965	1,490	8,710	1,302

（参考：現地通貨の売上推移）	当第１四半期連結累計期間（2025年１月１日～2025年３月31日）	前第１四半期連結累計期間（2024年１月１日～2024年３月31日）
日本（百万円）	743	540
グレーターチャイナ（千人民元）	10,751	9,063
インド（千インドルピー）	281,066	284,132

（注）その他の地域については、原則として米ドルで計上しているか、少額のため割愛しております。

（プロフェッショナルソリューション事業）

プロフェッショナルソリューション事業は、マネジメントサービス事業を通じて集積した知見やネットワークを活用し、特定の領域に特化した専門的なサービスを提供しております。現在は、デジタルトランスフォーメーション(DX)、インタ

ラクティブソリューション、サプライチェーンソリューション、サステナビリティソリューションの４領域でサービスを展開しております。

前第１四半期連結累計期間においては、サプライチェーンソリューション領域、デジタルトランスフォーメーション領域及びインタラクティブソリューション領域の３領域において報告を行っておりましたが、その後、2024年10月に株式会社Green Impact Labsを連結子会社化したことにより、前第４四半期連結会計期間からはサステナビリティソリューション領域を加えた全４領域で報告を行っております。

当事業においては、サプライチェーンソリューション領域で人員及び拠点の整理を行った影響により674千米ドル（100百万円）の減収となったものの、他の３領域はいずれも堅調に推移し、デジタルトランスフォーメーション領域で916千米ドル（137百万円）、インタラクティブソリューション領域で170千米ドル（25百万円）の増収となったほか、サステナビリティソリューション領域において新たに678千米ドル（101百万円）の売上収益を創出しました。その結果、当第１四半期連結累計期間のセグメント売上収益は4,613千米ドル（690百万円、前年同期は3,504千米ドル（524百万円））（セグメント間収益含む）、セグメント利益は785千米ドル（117百万円、前年同期は448千米ドル（67百万円））となりました。

（プロフェッショナルソリューション事業における領域別売上収益の内訳）	当第１四半期連結累計期間（2025年１月１日～2025年３月31日）		前第１四半期連結累計期間（2024年１月１日～2024年３月31日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
デジタルトランスフォーメーション	1,817	272	901	135
インタラクティブソリューション	762	114	592	89
サプライチェーンソリューション	1,295	194	1,969	294
サステナビリティソリューション	678	101	－	－
グループ間取引消去	△1	△0	－	－
合計	4,551	681	3,462	518

（プリンシパル投資事業）

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小／新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、ペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社LVGを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、各病院の運営が堅調に推移したことにより円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で15百万円の増収となったものの、長期的な円安の影響により、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で13千米ドル（２百万円）の減収となりました。その結果、当第１四半期連結累計期間のセグメント売上収益は4,532千米ドル（678百万円、前年同期は4,545千米ドル（680百万円））、セグメント利益は244千米ドル（36百万円、前年同期は251千米ドル（38百万円））となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主にアジア各国における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、中国の景気減速の影響により中国及びシンガポールでの飲食事業が軟調に推移したことから、前年同期比で173千米ドル（26百万円）の減収となりました。その結果、当第１四半期連結累計期間のセグメント売上収益は4,144千米ドル（620百万円、前年同期は4,317千米ドル（646百万円））、セグメント利益は61千米ドル（9百万円、前年同期は14千米ドル（２百万円））となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下の通りです。

（グループの売上収益の内訳）	当第１四半期連結累計期間（2025年１月１日～2025年３月31日）	前第１四半期連結累計期間（2024年１月１日～2024年３月31日）

	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
マネジメントサービス事業	10,239	1,531	8,963	1,340
プロフェッショナル ソリューション事業	4,613	690	3,504	524
プリンシパル投資事業	8,676	1,297	8,862	1,325
（内訳）				
ペットケア領域	4,532	678	4,545	680
戦略投資領域	4,144	620	4,317	646
グループ間取引消去	△428	△64	△405	△61
合計	23,100	3,454	20,924	3,129

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は138,386千米ドル（20,693百万円、前連結会計年度末は136,015千米ドル（20,338百万円））となり、前連結会計年度比2,371千米ドル（355百万円）増加となりました。これは主に、各セグメントの業績が堅調に推移したことにより営業債権が2,567千米ドル（383百万円）増加したことによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は44,612千米ドル（6,671百万円、前連結会計年度末は45,706千米ドル（6,834百万円））となり1,094千米ドル(164百万円）減少となりました。これは主に、営業債務以外の短期債務が1,089千米ドル（163百万円）減少したことによるものであります。

（資本）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は93,774千米ドル（14,022百万円、前連結会計年度末は90,309千米ドル（13,504百万円））となり、前連結会計年度末比3,465千米ドル（518百万円）増加となりました。これは主に、在外営業体の換算差額2,470千米ドル（369百万円）を計上したことによるものであります。

（３）キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より2,740千米ドル(410百万円)減少し、40,541千米ドル(6,062百万円)となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、1,944千米ドル（291百万円、前第１四半期連結累計期間は626千米ドル（94百万円）の減少)となりました。これは主に、営業債権が2,336千米ドル（349百万円）増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、959千米ドル（143百万円、前第１四半期連結累計期間は2,968千米ドル（444百万円）の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出706千米ドル（106百万円）及び関連会社への投資による支出259千米ドル（39百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1,097千米ドル（164百万円、前第１四半期連結累計期間は146千米ドル（22百万円）の減少）となりました。これは主に、リース負債の返済による支出934千米ドル（140百万円）によるものであります。

（４）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、

個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業及びプロフェッショナルソリューション事業は、引き続き為替変動リスクや減速が予想される世界経済の動向を注視しつつも、マネジメントサービス事業においてはAuctus Advisors Private Limited（以下、「オークタス」といいます。）等とのM&Aを通じた業容拡大ならびにパートナー層を中心として優秀な人材の採用が着実に進展していること、プロフェッショナルソリューション事業においては各領域の事業立ち上げが順調に進捗していること、さらに、両事業の更なる業容拡大に向けて新たなM&Aを積極的に検討していることから、着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においては、重点領域であるペットケア領域が位置するマーケットは、為替変動の影響下でも堅実な需要が見込まれることから、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。戦略投資領域については、中国の景気減速の影響は一定程度見込まれるものの、香港及びシンガポールで展開する飲食事業で店舗の改装やブランドリニューアル等の積極的な投資を行っていること及び日本における各事業が堅調に推移していることから、今後も着実な売上拡大を見込んでおります。

なお、当社グループの事業内容に関して、ロシア・ウクライナ情勢による直接的な影響はグループ全体で軽微であるものの、情勢の変化によって生じうる急激な為替変動リスクについては、引き続き注視してまいります。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結損益及び包括利益計算書

	当第１四半期連結累計期間 （2025 年１月１日～ 2025 年３月 31 日）		前第１四半期連結累計期間 （2024 年１月１日～ 2024 年３月 31 日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
継続事業				
売上収益	23,100	3,454	20,924	3,129
売上原価	△8,232	△1,231	△7,355	△1,100
売上総利益	14,868	2,223	13,569	2,029
その他の収益及び利得	13	2	40	6
販売費	△187	△28	△204	△31
一般管理費	△13,554	△2,027	△12,348	△1,846
その他の営業費用	43	6	15	2
営業利益	1,183	177	1,072	160
金融収益	6	1	5	1
金融費用	△105	△16	△84	△13
持分法による投資損益（△は損失）	△107	△16	－	－
税引前四半期利益	977	146	993	148
法人所得税費用	△517	△77	△326	△49
継続事業からの四半期利益	460	69	667	100
非継続事業				
非継続事業からの四半期利益	－	－	509	76
四半期利益	460	69	1,176	176
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	394	59	1,111	166
非支配持分	66	10	65	10
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）：				
継続事業からの四半期利益	394	59	653	98
非継続事業からの四半期利益	－	－	458	68
非支配持分:				
継続事業からの四半期利益	66	10	14	2
非継続事業からの四半期利益	－	－	51	8
親会社の所有者に帰属する１株当たり四半期利益				
基本（米セント/円）	1.77	2.64	5.07	7.57
希薄化後（米セント/円）	1.75	2.62	5.05	7.55
基本的１株当たり四半期利益（△は損失）				
継続事業（米セント/円）	1.77	2.64	2.98	4.46
非継続事業（米セント/円）	－	－	2.09	3.13
	1.77	2.64	5.07	7.58
希薄化後				
継続事業（米セント/円）	1.75	2.62	2.97	4.44
非継続事業（米セント/円）	－	－	2.08	3.11
	1.75	2.62	5.05	7.55
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のある				
その他の包括利益（△は損失）：				
在外営業活動体の換算差額	2,813	421	△1,641	△245
持分法のその他の包括利益	32	5	－	－
税引後その他の包括利益（△は損失）	2,845	425	△1,641	△245
四半期包括利益合計	3,305	494	△465	△70
四半期包括利益の帰属:				
親会社の所有者	2,864	428	△519	△78
非支配持分	441	66	54	8

親会社の所有者に帰属する四半期包括利益（△は損失）：				
継続事業からの四半期包括利益	2,864	428	△700	△105
非継続事業からの四半期包括利益	－	－	181	27
非支配持分：				
継続事業からの四半期包括利益	441	66	13	2
非継続事業からの四半期包括利益	－	－	41	6

（２）要約四半期連結財政状態計算書

	当第１四半期連結会計期間 （2025 年３月 31 日）		前連結会計年度 （2024 年 12 月 31 日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	8,851	1,323	8,107	1,212
使用権資産	5,127	767	4,710	704
のれん	50,750	7,589	49,478	7,398
無形資産	4,633	693	4,757	711
ジョイント・ベンチャーに対する投資	201	30	－	－
関連会社に対する投資	623	93	638	95
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,301	195	1,267	189
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	2,624	392	1,615	241
繰延税金資産	1,582	237	1,506	225
非流動資産合計	75,692	11,318	72,078	10,778
流動資産				
棚卸資産	717	107	791	118
営業債権	16,019	2,395	13,452	2,011
契約資産	2,324	348	2,761	413
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	3,093	462	3,652	546
現金及び預金	40,541	6,062	43,281	6,472
流動資産合計	62,694	9,375	63,937	9,560
流動負債				
営業債務	2,813	421	3,226	482
営業債務以外の短期債務	15,174	2,269	16,263	2,432
有利子負債	4,957	741	4,901	733
リース負債	2,351	352	2,297	343
未払法人所得税	706	106	822	123
流動負債合計	26,001	3,888	27,509	4,113
正味流動資産	36,693	5,487	36,428	5,447
正味流動資産及び非流動資産合計	112,385	16,805	108,506	16,225
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	1,286	192	1,279	191
有利子負債	13,031	1,949	12,951	1,937
リース負債	2,719	407	2,459	368
繰延税金負債	1,438	215	1,381	207
退職給付に係る負債	137	20	127	19
非流動負債合計	18,611	2,783	18,197	2,721
純資産	93,774	14,022	90,309	13,504
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	46,493	6,952	46,478	6,950
剰余金	46,097	6,893	43,088	6,443
	92,590	13,845	89,566	13,393
非支配持分	1,184	177	743	111
資本合計	93,774	14,022	90,309	13,504

（３）要約四半期連結持分変動計算書

当第１四半期連結累計期間(2025 年１月１日～2025 年３月 31 日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	在外営業活動体の換算差額	利益剰余金	新株予約権	退職給付制度	合計	非支配持分	資本合計
2025 年１月１日残高	46,478	△1,955	△11,776	55,806	1,037	△24	89,566	743	90,309
	(6,950)	(△292)	(△1,761)	(8,345)	(155)	(△4)	(13,393)	(111)	(13,504)
四半期利益	－	－	－	394	－	－	394	66	460
	－	－	－	(59)	－	－	(59)	(10)	(69)
その他の包括利益（△は損失）									
在外営業活動体の換算差額	－	－	2,438	－	－	－	2,438	375	2,813
	－	－	(365)	－	－	－	(365)	(56)	(421)
持分法のその他の包括利益	－	－	32	－	－	－	32	－	32
	－	－	(5)	－	－	－	(5)	－	(5)
四半期包括利益（△は損失）合計	－	－	2,470	394	－	－	2,864	441	3,305
	－	－	(369)	(59)	－	－	(428)	(66)	(494)
株式報酬費用	－	－	－	－	72	－	72	－	72
	－	－	－	－	(11)	－	(11)	－	(11)
譲渡制限付株式ユニット発行費用	－	－	－	－	88	－	88	－	88
	－	－	－	－	(13)	－	(13)	－	(13)
譲渡制限付株式ユニットの権利確定に伴う新株の発行	15	－	－	－	△15	－	－	－	－
	(2)	－	－	－	(△2)	－	－	－	－
2025 年３月 31 日残高	46,493	△1,955	△ 9,306	56,200	1,182	△24	92,590	1,184	93,774
	(6,952)	(△292)	(△1,392)	(8,404)	(177)	(△4)	(13,845)	(177)	(14,022)

前第１四半期連結累計期間(2024 年１月１日～2024 年３月 31 日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	在外営業活動体の換算差額	利益剰余金	新株予約権	退職給付制度	合計	非支配持分	資本合計
2024 年１月１日残高	44,927	△1,453	△9,541	36,396	589	△14	70,904	1,215	72,119
	(6,718)	(△217)	(△1,427)	(5,442)	(88)	(△2)	(10,602)	(182)	(10,784)
四半期利益	－	－	－	1,111	－	－	1,111	65	1,176
	－	－	－	(166)	－	－	(166)	(10)	(176)
その他の包括利益（△は損失）									
在外営業活動体の換算差額	－	－	△1,630	－	－	－	△1,630	△11	△1,641
	－	－	(△244)	－	－	－	(△244)	(△2)	(△245)
四半期包括利益（△は損失）合計	－	－	△1,630	1,111	－	－	△519	54	△465
	－	－	(△244)	(166)	－	－	(△78)	(△8)	(△70)
株式報酬費用	－	－	－	－	156	－	156	－	156
	－	－	－	－	(23)	－	(23)	－	(23)
2024 年３月 31 日残高	44,927	△1,453	△11,171	37,507	745	△14	70,541	1,269	71,810
	(6,718)	(△217)	(△1,670)	(5,608)	(111)	(△2)	(10,548)	(190)	(10,738)

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第１四半期連結累計期間 （2025 年１月１日～ 2025 年３月 31 日）		前第１四半期連結累計期間 （2024 年１月１日～ 2024 年３月 31 日）	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
継続事業からの税引前当期利益	977	146	993	148
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△6	△1	△5	△1
減価償却費（有形固定資産）	390	58	465	70
減価償却費（使用権資産）	803	120	830	124
その他の償却費（無形資産）	205	31	214	32
棚卸資産廃棄損	0	0	2	0
有形固定資産除却損	3	0	－	－
有形固定資産売却益	－	－	△5	△1
リース解約益	△5	△1	△0	△0
貸倒引当金の増加額（△は戻入）	△0	△0	0	0
金融費用	105	16	84	13
持分法による投資損失	107	16	－	－
株式報酬費用	72	11	156	23
譲渡制限付株式ユニット発行費用	88	13	－	－
運転資本の変動前の	2,739	410	2,734	409
営業キャッシュ・インフロー				
運転資本の変動：				
前払金、敷金及び保証金並びに	△673	△101	668	100
その他の債権の増減額（△は増加）				
契約資産の増減額（△は増加）	428	64	△234	△35
棚卸資産の増減額（△は増加）	110	16	△269	△40
営業債権の増減額（△は増加）	△2,336	△349	△1,049	△157
営業債務の増減額（△は減少）	△394	△59	911	136
営業債務以外の債務の減少額	△1,587	△237	△2,376	△355
小計	△1,713	△256	385	58
法人所得税の支払額	△231	△35	△1,011	△151
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,944	△291	△626	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	6	1	5	1
有形固定資産の取得による支出	△706	△106	△1,273	△190
有形固定資産除売却益	－	－	0	0
子会社及び事業の取得による支出	－	－	△1,700	△254
関連会社への投資による支出	△259	△39	－	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959	△143	△2,968	△444
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入による収入	711	106	1,618	242
借入金の返済による支出	△769	△115	△835	△125
リース負債の返済による支出	△934	△140	△845	△126
利息の支払額（リース負債）	△36	△5	△33	△5
利息の支払額	△69	△10	△51	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,097	△164	△146	△22
継続事業からの現金及び現金同等物の増加額	△4,000	△598	△3,740	△559
非継続事業からの現金及び現金同等物の増加額	－	－	693	104
現金及び現金同等物の期首残高	43,281	6,472	26,193	3,917
現金及び現金同等物の為替変動による影響	1,260	188	△1,751	△262
現金及び現金同等物の期末残高	40,541	6,062	21,395	3,199
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び預金	40,541	6,062	21,395	3,199

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援等を提供する「マネジメントサービス」、サプライチェーンやサステナビリティなど専門的な知見が求められる特定の領域に特化したソリューションを提供する「プロフェッショナルソリューション事業」及び中小・振興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の３事業を展開しております。また、「プリンシパル投資」においては、「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「プロフェッショナルソリューション事業」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の４つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

なお、プロフェッショナルソリューション事業については、前第１四半期連結会計期間はサプライチェーンソリューション領域、デジタルトランスフォーメーション領域及びインタラクティブソリューション領域の３領域において報告を行っておりましたが、その後、2024年10月に株式会社Green Impact Labsを連結子会社化したことにより、前第４四半期連結会計期間からはサステナビリティソリューション領域を加えた全４領域で報告を行っております。

２．報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間(2025 年１月１日～2025 年３月 31 日)

（単位：千米ドル（百万円））

	報告セグメント				合計
	マネジメントサービス	プロフェッショナルソリューション	ペットケア	戦略投資	
外部収益	9,965 (1,490)	4,551 (681)	4,532 (678)	4,052 (606)	23,100 (3,454)
セグメント間収益	274 (41)	62 (9)	－ －	92 (14)	428 (64)
計	10,239 (1,531)	4,613 (690)	4,532 (678)	4,144 (620)	23,528 (3,518)
セグメント間収益の相殺					△428 (△64)
収益合計					23,100 (3,454)
非資金取引前セグメント損益	1,743 (261)	921 (138)	698 (104)	570 (85)	3,932 (588)
非資金取引					
貸倒引当金戻入額	－ －	－ －	0 (0)	－ －	0 (0)
有形固定資産除却損	－ －	－ －	－ －	△3 (△0)	△3 (△0)
減価償却費	△232 (△35)	△77 (△12)	△404 (△60)	△480 (△72)	△1,193 (△178)
その他の償却費	△118 (△18)	△11 (△2)	△50 (△7)	△26 (△4)	△205 (△31)
リース解約益	5 (1)	－ －	－ －	－ －	5 (1)
株式報酬費用	△33 (△5)	△39 (△6)	－ －	－ －	△72 (△11)
譲渡制限付株式ユニット発行費用	△79 (△12)	△9 (△1)	－ －	－ －	△88 (△13)
セグメント損益	1,286 (192)	785 (117)	244 (36)	61 (9)	2,376 (355)
配賦不能本社費					△1,193 (△178)
営業利益					1,183 (177)
金融収益					6 (1)
金融費用					△105 (△16)
持分法による投資損失					△107 (△16)
継続事業からの税引前四半期利益					977 (146)
非継続事業からの税引前四半期利益					－ －
税引前四半期利益					977 (146)

前第１四半期連結累計期間(2024 年１月１日～2024 年３月 31 日)

（単位：千米ドル（百万円））

	報告セグメント				合計
	マネジメントサービス	プロフェッショナルソリューション	ペットケア	戦略投資	
外部収益	8,710 (1,302)	3,462 (518)	4,545 (680)	4,207 (629)	20,924 (3,129)
セグメント間収益	253 (38)	42 (6)	－ －	110 (16)	405 (61)
計	8,963 (1,340)	3,504 (524)	4,545 (680)	4,317 (646)	21,329 (3,189)
セグメント間収益の相殺					△405 (△61)
収益合計					20,924 (3,129)
非資金取引前セグメント損益	2,088 (312)	459 (69)	723 (108)	652 (97)	3,922 (586)
非資金取引					
貸倒引当金繰入額	－ －	－ －	△0 (△0)	－ －	△0 (△0)
棚卸資産廃棄損	－ －	－ －	－ －	△2 (△0)	△2 (△0)
減価償却費	△269 (△40)	－ －	△416 (△62)	△610 (△91)	△1,295 (△194)
その他の償却費	△121 (△18)	△11 (△2)	△56 (△8)	△26 (△4)	△214 (△32)
有形固定資産売却益	5 (1)	－ －	－ －	－ －	5 (1)
リース解約益	0 (0)	－ －	－ －	－ －	0 (0)
株式報酬費用	△156 (△23)	－ －	－ －	－ －	△156 (△23)
セグメント損益	1,547 (231)	448 (67)	251 (38)	14 (2)	2,260 (338)
配賦不能本社費					△1,188 (△178)
営業利益					1,072 (160)
金融収益					5 (1)
金融費用					△84 (△13)
継続事業からの税引前四半期利益					993 (148)
非継続事業からの税引前四半期利益					783 (117)
税引前四半期利益					1,776 (266)